



えどまっき きょだい とみ きず ひろかねてい  
江戸末期、ベンガラで巨大な富を築いた広兼邸

大野呂の庄屋をつとめていた広兼家。2代目元治は、1801～1817年に小泉鉱山の経営とベンガラの原料となるローハの製造により、巨大な富を築きました。邸内の2階建ての母屋、土蔵3棟、楼門、長屋、石垣は文化7年(1810年)、離れは大正時代に当主の結婚式のために建てられました。広々とした庭園には地中に埋めた水瓶に落ちる水滴の音を楽しむ水琴窟とよばれる仕掛けが設けられています。広兼邸が建てられてからおよそ200年。今も変わらずまるでお城のような堂々とした佇まいで当時の豪華な生活を物語っています。

◆ 施設のおすすめ

広兼邸は敷地781坪(2581㎡)、母屋98坪(323㎡)に及ぶ巨大な邸宅であることはもちろんのこと、名探偵・金田一耕助シリーズの映画「八つ墓村」で1977年と1996年の2度にわたり、撮影がおこなわれたことでも有名です。邸内には当時の看板やポスターなどが展示されています。邸宅からみえる向かいの山には明治初期、広兼個人の神社として建てられた天広神社があります。境内には花木が植えられ、池や築山、石灯笼や狛犬もつくられており、庭園風となっていることから衆楽園と呼ばれております。

◆ 子どもたちへのメッセージ

広兼邸だけでなく、ベンガラ製造で栄えた旧片山家住宅。ベンガラの製造工程を知ることができるベンガラ館も訪れると、よりこの地の歴史や文化を楽しく学べると思います。ぜひ高梁市のいろんなスポットを巡ってください!



おもや はな あいだ いち ていえん  
母屋と離れの間位置する庭園



かんれん ほんばいちゅう  
関連グッズも販売中!



すいぎんくつ  
水琴窟



ざしき  
座敷



しろ りっぱ かべ  
お城のような立派な壁



ろうもん  
楼門



だいどころ  
台所